

羲ѯ 之 (303~361)

王ぉ゙

※生殁については他説あり。

### ▼黄庭経

る。王羲之は書の芸術性を確固たらしめた普 将軍となったことから世に王右軍とも呼ばれ 中国東晋の政治家・書家。字は逸少。右軍

遍的存在として書聖と称される。

外経を書写したもの。 黄庭経は小楷の法帖で、道家の経典、

黄庭

る。 毅論に次ぐものとされる。 梁朝以来、王書の著名な筆蹟として知られ 唐の貞観内府に真蹟があったらしく、楽

# 上有黄庭下有關元前有幽關後有命嘘吸



 $(73 \times 17 cm)$ 

字詰め えが右下 1時間 もペンではあるが大谷光瑞という人 びに性情の した徳富蘇峰によれば いにしえ人が小楷を書 たままで書き続けた」というから驚かざるを得な 何 或 下へ はやか に12800字を草し、 いは3万字を書いたといわ 筆 いうさわやかな筆致なんだろう。 Ó それを1時間に16枚も書き放すというから リキまな 奥深さを感じさせられる。 重心を落とす自然さが な 筆 'n 動きが心を癒してくれる。 い微妙な筆圧の変化と、 か 「光瑞の原 れる時 それも2~3時間は立 0) 速さは、 稿用紙は1枚80 れているが、 好きである。 が書く速さを 黄庭経をみて 1日に1万 文字の 日本 国 明 で 0 送

川暁洲

古

 $(136 \times 35 \text{cm})$ 





秘 る。 偏と旁の高さを変え、 旁は筆順に留意し、 5、筆脈を考えて運筆する。 偏の幅を狭く、旁の下部に 旁の下部に: 余白を作

旁の3画目は上部に長く出し、は うは左に寄せて、それぞれの画の 画のはらいは短く鋭く。 はらいの方向に注意。 位置に気を配って書く。 最終

意し、終筆側を太くしっかりと止める。 中に入り込ませる。 全体に下部で広がる形にまとめる。 1~3画目は長さに留 禾は左右はらいの

都 目は左側に置き、旁は筆先を立てて鋭いタッチで。 偏と旁が上下にずれる形にまとめる。 偏の2画目より5

画

鳳 隔を等しくし、 几は中の広さを考え、 中の空間にうまく入れる。 ゆったりと運筆する。 鳥は横画 0 間

洞 げて、戸は中心寄りに置く。偏は右側を縦に一線に揃え、 余白を均等に。 司は偏より下

原

帖

[秘決秦都鳳祠] 秘決を(伝)え、 秦都の鳳祠、



### ♠剖州帖



## 〔去〕 変え、な

変え、左側に余白を残す。 入筆は角度を作って力強く、転折部分でしっかりと方向

引き締める。 縦の部分は線に変化をつける。下部は動きを小さく横画で前の字を受けて入筆し、長く右上がりを強く、上部3本の

無

と旁が上下にずれる形にまとめる。 偏の内に絞る線と旁の左方向への曲線が対応している。

偏

期

く感じに。 る(骨法参照)。最終画は筆圧の変化をつけ、終筆は筆を抜る(骨法参照)。最終画は筆圧の抑揚と線の緩急が入り交じ

也

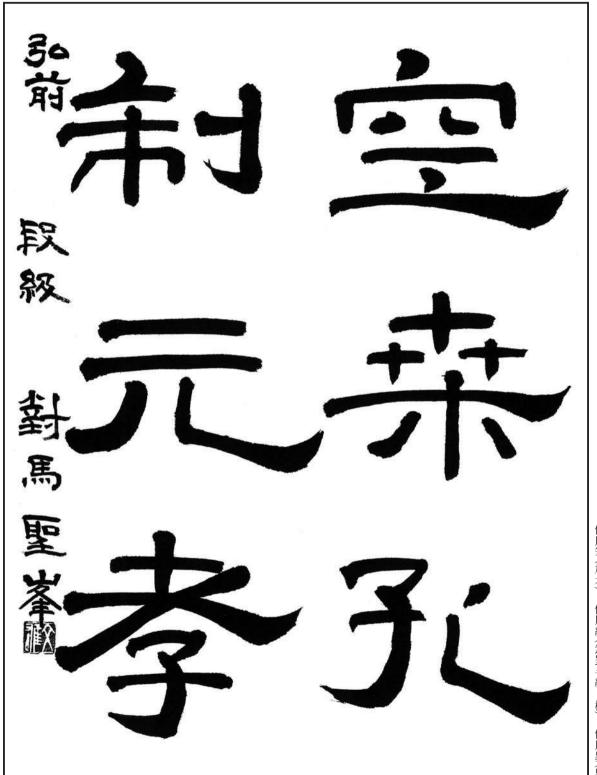
筆脈を通し、余白のとり方にも配慮する。単調な動きに見えて、絶妙な形と動きに着目して書くこと。

が極端なので、筆先をよく見て運筆する。 入筆部分は筆先を沈潜させてどっしりと重く。太さと細さ

原帖



〔去無期也不果〕去りて期無き也。果たさざる(者は)、







より左に寄せ、7中心に気を配り、

7画目が中心にくる。最終両、横広の四角形に形づくる。

最終画を一

画を一番長くす。 1画目は中心

める。2画目と8画目の縦画はずらす。 全体に菱形に形づくる。 上部は太細に留意し、 木の横画は細いな 小さくまと

子の2画目の終筆は横には

がら張りのある線で。

制

孔 ねる。しは終筆右下がりにしだ偏の幅を狭く、旁を広くとる。 しは終筆右下がりにしだいに筆圧を加える。

**\$**は余白を均等にとる。旁は上下をあけて、 しっかりと。偏と旁のバランスよく。

筆圧をか

けて

終画横の部分は呼吸を長く、しだいに筆圧を加える。中心に気を配り、下部で広がり安定した形にまとめる。 しだいに筆圧を加える。

最

3画目は長く右下がりにし、終筆は重くゆったりとはらう。 4画目斜めの画の方向に注意。 子は中心に置く。



意味―連なった峰は高い木の生えた岸を抱いてめぐる。(列岫…連なった峰。

喬木…高い木。)

**※弘前**の部分には**支部名**を書く

※出品段級位(調和体部 新級~正師範)

使用筆(からまつ)・使用紙(調和体用紙)・使用墨(書芸呉竹(固型))

日本教育書道会

乗り越えられたのは皆様の励ましの◎ 入院中は温かいお心遣いを戴き 誠に有難うございました辛い時期を お言葉があったからです

読み—

(◎印墨つぎ)

**※弘前**の部分には**支部名**を書く

12

### 漢字条幅漢詩 課 題

とが要求されます。

何枚も書き込んで、はじめて自信と余裕が生まれる

うな手法、これを無視してはよい作品になりません。 き綴ってみても、次の行でこれらに対比してお互いにひき立てられるよ 調和をみせているからです。どんなに整った字を大小や太細をつけて書 疎密・太細・明暗・大小等さまざまな異なった要素が隣り合って見事な 印

※出品段級位(新級~正師範)

行間の余白が美しい。これは行と行の対比、 それは のです。』 立前から申して、

ります。 のです。 することが、古典の書表現でも、 『作品の美的表現には、 均等を不均等にしたり疎密を加味したりして別の持ち味を表現 如何に画一的な表現を避けて観る人に訴えてほしいも 異なる表現を如何に調和させるかが命題であ しばしば伺い知ることがあり、 変化

内は岡 田契雪先生より



とではなく、

でしょうか。

使用筆(白神)・ 使用紙(漢字条幅用紙半切・ ・梅花箋) 使用墨 (頂煙翰墨自在 〈固型〉

Ō

⊴

読み―雲山淡く烟を含み、 〔雲山淡含烟◎ 疎樹晴延日◎ 疎樹晴れて日を延く。 亭虚寂無人 秋光自蕭瑟〕 亭虚しく寂として人無く、 王が 絨っ

― 雲かかる山はうすく烟も含み、

、まばらな樹々は日の光を迎えて晴れる。亭は静まり返って人もなく、秋の光もおのずとわびしい。

注 意 部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅 の人は新とお書き下さい。

支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さ

秋光自からを蕭瑟。

半

切(約136×約35センチ) 半切検定課題原寸大手本 500円で販売しております。

### 漢 字 条 幅 臨 書 課 題

※出品段級位(新級~正師範)

### **尺**世紀とく (清和 帖

してしまいました。 も学べて、尺牘は勉強になります。 われませんか。 作にも応用できる気がします。 は思いきり横広にし遠は縦長に作り前傾姿勢) 今月の課題 (の言ですから大きくしています。手紙を書くときの基礎知識 これは自己の名なので謙虚 に目を転じてみましょう。 大らかな余裕の中に痛快さが漂っていて惚れ惚れ 仰 久を受けて遠との間合や形状( な意味合いが含まれていて啓は 起・何の主張する画に眼を奪 芾は小さめに書 は展覧会出品の 13 7 創

遠 ||

※原帖をじっくり見るとこの動きですが自信がありません。√kk/ 傾=

でも可

うほど、 ます。 あけています。 というのが、 誰か云う、 つまり精神さえできていれば、 書は簡単ではない。 どうやら本当のようだと米芾はざっくばらんに打ち 心を存すれば、 「口あっ すなわち筆到る」と米芾は語って てよく談ずるも、 筆は思い のままになるとい 手随わず

どころか、 字のほとんどが、 に小気味よく続いています。 尺牘二品めの 、おもしろい 清 今にも動き出すかのような姿勢は重厚感ととも 和帖 ように動 を臨書してみると、米芾の手は 11 ています。 たくましく肉厚の文 随わず

〔芾◎ 啓 久遠 傾仰 夏序清和 起© 居何. 如 (◎印は墨つぎ)

読み―帯啓す。 久遠傾仰す。 夏序清和なり。 起居何如の

意味――芾申し上げます。 久しく尊敬しております。 夏の初めはすがすがしく、おだやかですが、ご機嫌いかがですか。

> 切(約136×約35センチ) 半切検定課題原寸大手本 500円で販売しております。 半

部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅

使用筆(神技北斗)・使用紙(漢字条幅用紙半切

華心箋)

使用墨

(黒耀

固

型

注 意 支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さいの人は新とお書き下さい。

	10月号 ペン行書課題 (ペン部)										
	支学	部	名年			丹		悪	首	会	
,						以上	掃	心感	にい	57 1	
	段	級	位初めて			の方	する	情	話す		
1 5 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			初めての人は新と書く			法	Ψ	Y	のかざ		
	氏		名	<b>!</b> ]		でな			<i>/</i> / `		
※果夏汍賽 11司				シナ	/ 	3					
※果題执権に司ジペノを体会で仅及っております 崔昕LD8円											(ボール
及っております 官											(ボールペン0.・硬筆用紙6行使用)
逝 1 0 8 月											6行使用)

※出品段級位(ペン部 新級〜正師筆											
ペン手紙課題(ペン部)											
	しのお言様があったからです		を乗り残るられたのは、自事の一助ま		海水移行流,一大平,晴期		入院中は過かいお心造いを裁奏	を乗り越えられたのは皆様の励ま(しのお言葉があったからです)			

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価270円

10月号

支 部 名

段級位

氏

初めての人は新と書く

名

25























行

書

課

題









境様の励ま





手紙課題